

派遣報告書

平成24年 2月13日

倉吉市議会議員 様

倉吉市議会

(代表) 議員

金光隆

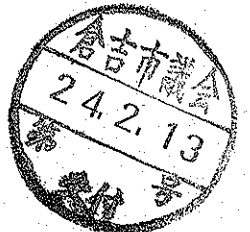


次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

1 派遣期間	平成24年 1月30日 (月) から平成24年 2月 1日 (水) まで
2 派遣先	佐賀県嬉野市・鹿島市・長崎県島原市
3 視察 (調査) 議員名	金光隆 梓島和江 福谷直美 中野隆
4 面会者	嬉野市長 岩田大司 嬉野市議会 事務局長 片山義郎 鹿島市議長 中西裕司 鹿島市議会 編集委員長 光武学 島原市副議長 永尾邦忠 島原市産業振興部 企画課長 飯取寛泰 島原市議会 事務局長 松崎英治
5 派遣目的	別紙
6 視察の経過及び感想	別紙
7 添付書類	① 嬉野議会 要領 ② 鹿島市 伝建群の取りくみ (1) ③ 鹿島市議会 発行要領 (2) ④ 島原市 特産品創出事業 ⑤ 写真

要した経費: 4人合計 271,920円



5 派遣目的

(1) 佐賀県嬉野市

- ・議会だよりの編集について

(2) 佐賀県鹿島市

- ・重要伝統的建造物郡保存地区について
- ・議会だよりの編集について

(3) 長崎県島原市

- ・島原市特産品創出事業『こらやっちゃんよかばい事業』について
- ・議会だよりの編集について

6 視察の経過及び感想

(1) 1月30日、14時30分から、嬉野市議員控室

嬉野市長谷口太一郎様、議長太田重喜様、市議会議員7人、局長片山義郎様。

嬉野市は人口約33,000人の市で嬉野温泉、旧長崎街道の宿場町、塩田津、塩田津港として栄えた時代の伝建群、肥前吉田焼等、観光と嬉野茶を中心とする農業の町であります。

市議会は定数18名中、議長、副議長を除いた半数8名が2年交代で編集委員を務め、質問については、本人が答弁も含めてゲラを作成し、写真は専門一人が担当しています。

強調されたのは読みやすくするために、余白の必要性と、編集委員の協力、強調がありました。協力によって最初1週間かかっていた時間も、2日半で終るようになりました。年間4回の発行で、予算額140万円、入札により100万円で、1部あたり19円から28円と安価で発行をしています。

感想としましては嬉野町と塩田町との合併が、平成18年で市政となっても議会が会派制をとっておらず、まとまっている議会でもあるし、そうでなければ短時間に余白もあり、やわらか味と読みやすく、表現に、ゆとりのある立派な議会だよりは、編集できないことと感じました。

(2) 1月30日、9時30分から、鹿島市議会第1会議室

鹿島市市議会議員長中西裕司様、議会だより編集長光武学議員、伝建群担当の職員の方々、鹿島市議会事務局長谷口秀男様。

鹿島市は、人口約31,000人の市で、日本三大稲荷の一つ祐徳稲荷神社や伝建群の肥前浜宿と醸造町等、多くの観光資源があり、祐徳稲荷は年間270万人の人々が訪れるといいます。今回、私達は、重要伝統的建造物群保存地区を活かした町づくりについて説明を受け現地の視察を行いました。資料を添付いたします。

市議会だよりの編集につきましては議会議員16名中3人から4人の編集員で行い毎号40日以内に12ページ、10,600戸用、年4回の予算額133万円（平成

23年度)であり、月25日、26日に各集落の自治会により配布されています。鹿島市議会だより発行要領を添付いたします。

鹿島市も質問は本人が答弁も含め17行中にまとめます。少々堅い誌面ですが特徴は審議の議決内容を各議員毎に掲載することと、議長交際費を公表して掲載しております。鹿嶋市議会も会派制をとっておらず。まとまりを感じました。

(3) 1月30日、15時から、長崎県島原市役所委員会室

副議長長尾国忠様、産業振興部鍛取寛泰様、議会事務局班長松崎英治様。

島原市は、人口約48,000人の市で、長崎県の東南部に位置し、有明海に面し平成2年に噴火した雲仙普賢岳があり、溶岩ドームと大災害、寛永14年(1637年)のキリシタン弾圧による島原の乱は、あまりにも有名であります。

今回の調査は、市の活性化事業として、農産水産品があっても、ブランド品が無く、特産品の質の向上を図る目的として『こらやっちゃよかばい事業』に取り組んでおり、その成果を調べました。豊富な農産物は倉吉市と同様ですが、特産品がありません。そこで、創出を推進し奨励して、六次産業の創出と新しい商品と料理を開発しています。優秀な商品には大賞として、多額の賞金をつけて応募を求め、専門家の審査で決定し、販路拡大補助金を交付できるようにしております。事業内容と受賞の商品については、資料を添付します。成果については少し時間が必要ではないかと感じました。